

発言No. 15

受付No. 17

令和5年6月7日

10時40分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 12番

氏名 上野 茂

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

コロナ禍で・・・4年ぶりに開催された地域井戸端会議…何点か

最初に

1 市民の困りごとについて

高齢化が進み、集落維持がきびしい状況にあります。特に、買い物、通院などの交通不便地域の対策、鳥獣被害の対策や、高齢のため、草刈りが自力で行えず業者へ依頼することも年々増えているのが現状です。

(1) 農地維持・担い手不足について

- ① 農家の担い手対策をどのように考えているのか伺う。
- ② 肥料高騰、低い米価、農地を守るための耕作の支援を伺う。

(2) 交通不便地域対策について

- ① バス停まで歩いていけない。敬老乗車券もすぐなくなる、そうした声が今後ますます増えると思うが対策を伺う。

- ② まちづくりセンターでよい取り組みをしているところがある。共有しセンターへの支援を考えているのか伺う。

(3) 人口減少対策について

- ① 学校が減る中で「少子化対策として働く場があれば若者が残ってくれるのでは」という意見が地域井戸端会であったが、対策について伺う。
- ② 他市では高校の寮費や通学に対する支援など入学生確保に取り組む施策があるようだが、市内高校入学生の確保についての市の取組を伺う。

(4) 地域資源の利活用について

- ① スケート場を残してほしいとの声について伺う。
- ② 温泉施設の誘客について伺う。

一般質問発言通告書

議席番号 21 番

氏名 川神 裕司

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 (○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 石見神楽「ものづくり」文化財指定の課題について

- (1) 石見神楽「ものづくり」に対する現在の取組状況について
 - ① 文化財審議会の動きが極めて鈍いと感じるが現在の状況はどうか問う。
- (2) 石見神楽「ものづくり」の文化財指定の障壁について
 - ① 先日「ものづくり」の文化財指定を心待ちにしていた石見神楽面創作の巨匠が亡くなった。石見神楽の「ものづくり」文化財指定あってこそ、期待される石見神楽伝承施設も輝く。改めて文化財指定が進まない障壁は何か問う。

2 地域の存続をかけた人口減少対策について

- (1) 今後浜田市が死守すべき人口ラインについて
 - ① 浜田市都市計画マスタープランの将来人口は令和14年において、42,690人としている。今後「都市存続」の観点から市長はこれ以上絶対に人口を減らすことはできないという人口死守ラインをどこにおいて市政運営を行うのか問う。
- (2) 人口減少対策の最重点施策の少子化対策について
 - ① 国において、異次元の少子化対策として最重点課題の一つとして取組を始める。「こども家庭庁」設置で子育て環境の整備こそ少子化対策の根幹という考え方は同調する。市もさらに大胆な子育て支援戦略を打つべきではないか。特に井戸端会でも提案された「地域で子供を育てる」仕組みも視野に入れた施策に対し市長の所見を問う。
- (3) 人口減少に歯止めをかける「若者定住対策」について
 - ① 少子化対策と同様に重要な施策は「若者定住」と考える。浜田市には県立大学学生等多くの若者が生活しているが、彼らが地域に魅力を持ち就労の場所として定住化してくれることは極めて意義が大きい。大切な事は若者の意見を拾い上げる仕組みづくりと各種計画に若者視点を反映させるということである。今後特に力を入れる若者支援、若者定住化対策を問う。
 - ② 車を持たない若者や高校生の移動手段として公共交通の在り方が問われている。公共交通利用者は高齢者が中心と思われがちだが、学生の通学等公共交通の果たす役割は大きい。「第2次地域公共交通再編計画」は任意計画。今後令和6年6月末までに「活性化再生法」に基づ

く「地域公共交通計画」を策定する必要がある。その際若者の視点もしっかり取り入れて計画を策定すべきだが市長の考え方を問う。

3 安心して暮らせる医療体制構築へのアプローチについて

(1) 地域住民の地域医療に対する啓発活動の推進について

① 先日「地域医療を守る会」の総会が、コロナが落ち着いたことから久しぶりに開催された。ただ参加者からは、医療関係者や各種団体代表等幅広い分野から参加している会であるにも関わらず、現在浜田が抱える地域医療の課題が議論され課題解決のためのアプローチがあるわけでもなく、住民参加により地域医療を守る取組が具体的な道筋が見えないと指摘している。浜田市健康づくりと地域医療を守り育てる条例を平成 24 年 3 月 23 日に制定し、地域医療に対しての市の責務を明言している。その関連会議である「地域医療を守る会」の今後の方向性を問う。

(2) 医療体制整備に不可欠なパラメディカルの確保について

① 医療体制を語る場合、医師を中心の議論になりますが、当然薬剤師、看護師、歯科衛生士、保健師、介護関係者等多くのパラメディカルの存在が重要。医師同様、市外で活躍している浜田市出身の医療資格保持者の誘致に、市として全力をあげるべきではないか市長の所見を問う。

(3) 医師確保対策の現状と今後のアプローチについて

① 本年度新規事業として「医師確保対策事業」という新たなアプローチを実施したことは評価しているが、医師確保対策の現状を問う。
② 開業医の事業承継も含めて医師確保対策は急務。全国で「開業医誘致推進事業」と称して多額の補助金活用で成果を上げている自治体もある。当市もこのような事業を導入し新たなアプローチを行う必要があるのではないかと、市長の所見を問う。

(4) 中山間地医療環境改善について

① 過疎化が進行し、医師不足や医師の高齢化も深刻である。山間地域への往診移動コストも問題、さらに公共交通の不便により通院も大きなリスクとなっている。この問題に長野県伊那市が企業と協業して、医療機器等を搭載した移動診療車「ヘルスマビリティ」を活用して中山間地医療の充実を目指した実証実験を開始、実績を上げている。簡単に言えば医師が乗らず看護師が搭乗し、遠隔地診断システムを使用し医師が問診、バイタル確認を行う画期的な取組。これらの取組事業を「医療 MaaS」と呼び、全国の中山間地域を抱える自治体で導入が始まっている。当市として「医療 MaaS」の導入は大きな健康保持のアドバンテージになると考えるが市長の所見を問う。

(5) 医療センターにおける先端医療機器整備等に対する市のスタンスについて

① 現在、がん拠点病院である浜田医療センターにおいては、放射線治療機リニアックの整備が来年3月まで行われず、センターの機能が低下状況にある。運営の独立法人の問題といえどそれまでだが、以前のPET-CT 導入時に県、市、がん対策募金等市民の支援も大きな力となった。今後中核病院の医療の質向上のための市の支援スタンスはどうか、考え方を問う。

一般質問発言通告書

議席番号 3番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 住んで良かったと自慢できる観光振興について

(1) コロナ5類移行後の誘客に向けての観光戦略について

① 広島サミット後、広島を訪れる観光客が増えているとのことである。広島方面等からの誘客を目指し、コロナ5類移行後の観光戦略はどのように考えているのか、その戦略を伺う。

② 浜田市内の誘客重点地はどこを考えているか、その場所を伺う。

(2) 誘客誘導への広報行政について

① 道路上の観光地案内用の誘導標識の設置については、どこが起案し設置するのかその手順を伺う。

② 誘導標識の点検や見直しは計画的にどこの担当課が実施しているのか、その現状を伺う。

(3) 「天然コケッコローケ地」の標識の設置の提案について

① 映画等のロケ地巡りは「聖地巡礼」とも言われ熱烈的なファンは少なくない。2007年に公開された「天然コケッコ」は作者倉持房子氏の母方の出身が浜田市ということから浜田でロケをされたようで、下来原の田んぼの一本道や三隅神社、広浜鉄道今福線、浜田高校、旧後野小学校などでロケが行われています。主演した夏帆さんや岡田将生さんは今や人気俳優として有名で、今でもロケ地巡りで浜田に来る人がいると聞きます。山陰道を通りしたときロケ地の標識を目にすることによって「へえそうなんだあ」「今度行ってみようか」と再訪動機へのよい宣伝となると思うが、考えを伺う。

2. 豊かな創造力を育む文化行政について

(1) 中央図書館内の光環境の制御について

① 昨年の12月定例会議の個人一般質問において、図書館内における太陽光の制御が不完全であるため、開架図書の背表紙が直射光により著しく色落ちしている状態を指摘した。その後、どのような対応をしたのか、また、今後どのように対応する予定なのか、その現状を伺う。

発言No.

18

受付No. 12

令和 5年 6月 7日

9時 50分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2番

氏名 村木勝也

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 防災情報の取得について

(1) 浜田市ホームページの防災サイトについて

- ① 防災無線、市のホームページ、防災防犯メール、SNS、ケーブルテレビにおけるそれぞれの防災に関し期待していることを伺います。
- ② 市のホームページ「気象情報等リンク集」の効果について伺います。
- ③ 「気象情報等リンク集」に関係する設備のメンテナンスについて伺います。
- ④ 今後の定点カメラの設置計画を伺います。

(2) 「気象情報等リンク集」及び石見ケーブルビジョンのアプリ「いわみる」の活用について

- ① 令和5年度新規事業「デジタル活用支援推進事業」の実践研修の一つとして、「気象情報等リンク集」等の活用の検討について伺います。
- ② 要配慮者利用施設に「気象情報等リンク集」等の紹介や研修会の開催について、市の見解を伺います。

2 「浜田市身近な公園整備基本方針」について

(1) 現状分析と課題の整理について

- ① アンケート調査10項目の選定理由を伺います。
- ② この度のアンケートで30歳代以下に焦点を当てた理由を伺います。
- ③ 各地域を分析した、その特徴を伺います。

(2) 住民ニーズにおける「災害時の避難場所となる大きな公園の充実」について

- ① 災害時における公園の役割を伺います。
- ② この度の基本方針において防災との関わりをどのように考えているのか伺います。
- ③ 既存公園の魅力度向上におけるトイレ環境の改善計画を伺います。

3 2030年開催予定の「島根かみあり国スポ・全スポ」について

(1) 競技会場の整備・充実について

- ① 浜田市において複数の競技が予定されています。先ほどの公園の整備方針において、30歳代以下においては、「スポーツ等が楽しめる大きな公園の充実」が高い割合をしめています。このような中、今後の競技会場の必要な改修等整備は、どのように進めていくのか伺います。
- ② 屋外競技場の水はけ等の改修が必要な場合、石炭火力発電所で生まれる石炭灰の有効利用について、市の見解を伺います。
- ③ トイレの改修、更衣室の整備、そして、クラブハウスの設置等が必要と考えるが浜田市の見解を伺います。

(2) 組織体制の充実について

- ① 競技役員等の充実も必要と考えるが、少子高齢化における昨今において、市は、どのような支援を考えているか伺います。

発言No. 19

受付No. 11

令和5年6月7日

9時24分受付

一般質問発言通告書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者
(○をつける)

市長 ○教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 子どもの育ちについて

(1) 未就学児の育ちについて

- ① 市内幼児教育力向上の拠点として浜田市幼児教育センターが今年4月からスタートした。実際にどのような取り組みをしているのか伺う。
- ② 浜田幼稚園もスタートした。園児などの様子についてどのような状況か伺う。
- ③ 幼児通級教室の周知について伺う。
- ④ 幼・保・小の連携がスムーズに進むためにどのような取り組みをしているか伺う。

(2) 子ども・子育て支援事業計画について

- ① 現在第2期の子ども・子育て支援事業計画中で、今年度から評価と次期計画策定となっている。今後どのように進んでいくのか伺う。

2. 学校の安全管理について

- ① 浜田市内の学校で、窓からの転落事故やガラスによる事故等の発生状況について伺う。
- ② 学校内での事故が発生しないためにどのような安全管理を行なっているか伺う。

3. 海を活用した地域活性化について

- ① 国府海岸は国内でも有数のサーフィンのメッカで、県市外から年間多くのサーファーが訪れている。浜田市長杯の大会も開催しており、宿泊、飲食など経済効果についての所見を伺う。
- ② 地域でサーフィンの活動をしている団体への支援について伺う。

